

『相手を思いやる言葉かけ』

1. 展開案

過程	学習活動	教師の働きかけ	留意すること
わかる	1. 本時のめあてを知る。	○友達や家族に声を掛けられて嬉しかったこと、逆に嫌だった経験はありますか。特に、落ち込んでいるとき、誰かが気付いて声を掛けてくれると元気が出ます。自分が大活躍をしたとき、一緒に喜んでくれると嬉しい気持ちはもっと大きくなります。今日の授業では、相手を思いやる言葉かけの仕方を練習します。	・「あたたかい言葉かけ」のスキルを身に付けることで、他人との関係づくりが一層うまくいくようになることに気付かせる。
相手を思いやる言葉かけを練習しよう			
	2. モデリングをみて、言葉かけのポイントを知る。 【モデリング】 Ⅰ冷たく厳しく Ⅱ軽く Ⅲポイントを意識して	○授業を進める上での約束を確認します。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしがらない ・冷やかさない ・よいところを見つける </div> ○これから先生が3つの言葉かけを実際にやってみます。相手がどのような気持ちになるか、考えながら見てください。「言葉をかける役」の人に注目しましょう。 ○どの言葉かけがよかったですか。 ○3つ目の言葉かけをもう一度やってみます。どのようなところがよいか考えながら見てください。 ○どのようなところがよかったですか。 ○言葉かけのポイントをまとめましょう。まず、相手の気持ちを想像して言葉にします。次に、自分がどのように感じるかを言います。最後に相手を大切にすることを言います。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【あたたかい言葉かけのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①相手の気持ちを言う ②自分の気持ちを言う ③相手を大切にすることを言う </div> ○例えば体育大会で転んで落ち込んでいる友達には、①は「残念だったね」、②は「練習頑張っていたもんね、悔しいよね」、③は「今度のリレーではうまくいくよ、きっと」などが考えられますね。	・約束が必要な理由を添えて説明する。 ・モデリングは、ポイントが分かりやすくなるように演じる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>※モデリングシナリオ参照</p> </div> ・提示するポイント以外で、生徒から、非言語の面での気付きが出たら、それらも必要であることを伝える。 ・イメージがつかみにくいポイントは分かりやすく例示して伝える。
やってみ	3. 言葉かけのポイントに気を付けながら練習①をする。	○言葉かけの練習をします。まず、練習①は『どうぞゲーム』を通して、言葉かけのポイントの大切さを体験します。	・楽しく取り組ませ、ゲームの中で感じた気持ちを交流することで、練習への動機付けを図る。

『どうぞゲーム』

- ・隣の人と2人1組になり、席を立ててジャンケンをする。
- ・1回目は、負けた人が勝った人に「座れば？」と冷たく言
って椅子に座るよう勧める。勝った人は「ありがとう」と
言って座る。1分間続ける。
- ・2回目は、負けた人は「立っていると大変でしょう。どう
ぞ」と言って、勝った人に椅子に座るよう勧める。勝った
人は「ありがとう」と言って座る。1分間続ける。

4. 全体で話し合い、
練習①を振り返る。

- 1回目と2回目、それぞれどんな気持ちがし
たか、聞いてみましょう。体験してどんな気
持ちがしましたか。
- ふり返しシートに自己評価を記入しまし
ょう。

5. 言葉かけのポイン
トに気を付けなが
ら、練習②をする。

- 4人組になって、ポイントに気をつけながら、
言葉かけの練習②をしてみましょう。
- まず役割を分担します。始めに役割を決めま
すが、役割は交代してすべて体験します。
- 「声をかける役」と「相手役」の人は席を立て
て練習します。練習ですので、「相手役」の人は、
練習する人が困らないように、話を合わせて
ください。
- 「観察役」の人は、「声をかける役」の人を見て、
3つのポイントができているかどうかを観察
してください。もし、ポイント以外でもよい
ところがあったら、覚えておいてください。

6. グループで話し合
い、練習②を振り返
る。

- 練習②を振り返りましょう。「観察役」の2人
は3つのポイントができていたか、どんなと
ころがよかったか、具体的に振り返ってくだ
さい。3つのポイント以外でもよいところが
あったら、伝えてください。
- ふり返しシートに自己評価を記入しまし
ょう。
- 3回目の練習で、特に気付きたいポイント
を決めます。ふり返しシートに記入してくだ
さい。2回目の練習で全部できていた人は、4
つ目に新しくポイントを作ってもいいです。

7. 言葉かけのポイン
トに気を付けなが
ら、練習③をする。

- では練習③を行います。ワークシートの練習
③をみてください。4つの場面を準備してい
ます。どの場面を練習するかは「声をかける

- ・『どうぞゲーム』の2回目
は練習①になることを伝え
て、ポイントを意識して行
わせる。

- ・ポイントを使って声をかけ
られるとどんな気持ちにな
るかを押さえる。
- ・ふり返しシートを配布し、
記入させ、よかった点を振
り返らせる。

※ふり返しシート参照

- ・ワークシートを示し、場面
を説明する。

※ワークシート参照

- ・ふり返しシートとワークシ
ートは両面印刷をしておく
とよい。
- ・「声をかける役」「相手役」「観
察役(2人)」の役割を分担
させる。
- ・「役は時計回りでまわす。」
など、指示しておくともス
ムーズに練習できる。
- ・練習でポイントを使って相
手を思いやる言葉掛けが
できている生徒をその都度
褒める。

- ・「観察役」には3つのポイン
ト以外でも、よいと思った
ことを伝えさせる。
- ・最後の練習では、生徒自身
がどのポイントを意識して
練習に取り組むかを明確に
させ、練習への動機付けを
図る。

- ・全員が終わったら、他の場
面に挑戦してもよいことを
伝える。

	<p>8. グループで話し合い、練習③を振り返る。</p>	<p>役」の人が決めてください。</p> <p>○練習③を振り返りましょう。観察役の2人は3つのポイントができていたか、どんなところがよかったか、具体的に振り返ってください。ポイント以外でもよいところがあったら、伝えてください。</p> <p>○ふり返しシートに自己評価を記入しましょう。</p>	<p>・練習でポイントを使って相手を思いやる言葉掛けができていない生徒はその都度褒める。</p>
<p>ふりかえる</p>	<p>9. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日の活動を振り返ります。ふり返しシートに記入しましょう。</p> <p>○今日は、相手を思いやる言葉かけを練習しました。相手がほっとしたり、嬉しくなったりするような言葉を伝えられて、友達の輪が広がるといいですね。</p> <p>○これから、しばらくチャレンジ週間を行います。何気ない生活の中で、今日の学習が生かされたかどうか確認をしながら、自分の人間関係を築く力を向上させていきましょう。</p>	<p>・ワークシート・ふり返しシートを回収する。</p> <p>・「あたたかい言葉かけ」のスキルの意義を押さえ、定着化の取組(チャレンジ週間)に向けて、生徒の意欲を高める言葉かけをする。</p> <p>・チャレンジ週間の説明をする。</p> <p>※チャレンジシート参照</p>

モデリングシナリオ

*生徒 A 役は教師が行う。

場面設定

明日は、みんなが楽しみにしているバス旅行の日です。
でも、Bさんは風邪気味で、頭がズキズキと痛んでいます。熱を測ったら38℃ありました。

モデリングⅠ 冷たく厳しい言葉をかける。

生徒 B：明日は楽しみにしているバス旅行の日なのに、行けるかなあ……。
生徒 A：バス旅行に行きたいなら、風邪なんか引かないように自分で気を付けとかなきゃ。
自業自得だよ。

この言葉かけ、どうだった？

予想される反応：よくない、きついなど

どんなところがいけなかったかな？

予想される反応：やさしくない、相手の気持ちを考えていない、冷たい、厳しい、いじわるなど

モデリングⅡ 軽くあしらうような言葉をかける。

生徒 B：明日は楽しみにしているバス旅行の日なのに、行けるかなあ……。
生徒 A：大丈夫、大丈夫！38℃くらい大したことはないよ。痛いて思うから痛いんだよ。

この言葉かけ、どうだった？

予想される反応：よくない、悲しいなど

どんなところがいけなかったかな？

予想される反応：軽い、本当に心配しているのかなと思う、いい加減など

モデリングⅢ ポイントを意識して頼む。

生徒 B：明日は楽しみにしているバス旅行の日なのに、行けるかなあ……。
生徒 A：顔が赤いよ、大丈夫？具合悪そうだもんね。心配だなあ。今日は無理しないで帰ったら？
明日のことで連絡があったら、夜電話するよ。

この言葉かけ、どうだった？

予想される反応：よかった、ほっとするなど

どんなところがよかったかな？

予想される反応：やさしかった、相手を見ていた、聞こえる声ではっきり言っていた
本当に心配していた様にした、相手が気になることを伝えていた、
相手の様子を言葉にしていた、自分の気持ちを言葉にしていた、
相手を思いやる言葉を言っていたなど

3. 活用場面のアレンジ例

「⑦あたたかい言葉かけ」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

- ・友達が立派なことや、優れたことをしたとき
- ・友達が頑張ろうとしているとき
- ・友達が嬉しそうとき
- ・友達が辛そうとき
- ・友達が不安そうとき
- ・友達が失敗したとき
- ・友達が初めての挑戦をしようとしているとき
- ・友達が緊張しているとき
- ・友達の体調が悪そうとき
- ・欠席していた友達が学校に出てきたとき